

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
裾野市	裾野市	平成29年度～令和3年度	平成29年度～令和3年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (令和 年度)	目標 (割合※1) (令和 年度) A	実績 (割合※1) (令和 年度) B	実績/目標※2	
排出量	事業系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t (%)	t (%)	%
	生活系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1 人当たりの排出量	kg/人	kg/人 (%)	kg/人 (%)	%
合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t (%)	t (%)	%	
再生利用量	直接資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
	総資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	t (%)	t (%)	t (%)	%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成28年度)	目 標 (令和3年度) A	実 績 (令和3年度) B	実績/目標※3	
総人口	52,590 人	50,266 人	50,089 人	—	
公共下水道	污水衛生処理人口	21,735 人	17,961 人	22,519 人	125.4%
	污水衛生処理率又は污水处理人口普及率	41.3%	35.7%	45.0%	126.1%
集落排水施設等	污水衛生処理人口	0 人	0 人	0 人	—
	污水衛生処理率又は污水处理人口普及率	0.0%	0.0%	0.0%	—
合併処理浄化槽等	污水衛生処理人口	19,155 人	24,585 人	18,042 人	73.4%
	污水衛生処理率又は污水处理人口普及率	36.4%	48.9%	36.0%	73.6%
未処理人口	污水衛生未処理人口	11,700 人	7,720 人	9,528 人	54.6%

※3 (実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの						
処理体制の構築、変更に関するもの						
処理施設の整備に関するもの	1	浄化槽設置整備事業	裾野市	本市の生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、公共下水道事業計画区域外の住宅用の合併処理浄化槽を設置する者に補助金を交付する。	平成29年度 ～令和3年度	浄化槽整備数 (国庫補助金交付対象基数) 平成29年度：55基 平成30年度：45基 令和元年度：67基 平成2年度：42基 令和3年度：53基 合計262基
施設整備に係る計画支援に関するもの						
その他						

3 目標の達成状況に関する評価

- ・浄化槽設置整備事業の設置基数は、5年間で262基であった。
- ・合併処理浄化槽等の汚水衛生処理人口及び汚水衛生処理率については、令和3年度目標値を達成できなかった。
(汚水衛生処理人口 目標 24,585人、実績 18,042人) (汚水衛生処理率 目標 48.9%、実績 36.0%)
下水道整備区域へ住民が流出したことや人口自体の減少が要因と考えられる。
- ・公共下水道の汚水衛生処理人口及び汚水衛生処理率については、令和3年度目標値を達成した。
(汚水衛生処理人口 目標 17,961人、実績 22,519人) (汚水衛生処理率 目標 35.7%、実績 45.0%)
公共下水道の普及率は平成28年度から3.7%向上しており、徐々に整備が進んでいる。
- ・未処理人口の解消については、浄化槽及び下水道整備事業により市全体で生活排水処理に取り組んだ結果、平成28年度人口から削減することができたが、目標値には届かなかった。
- ・今後についても、引き続き循環型社会形成推進交付金を活用した浄化槽設置整備事業にて合併処理浄化槽の整備を実施するとともに、公共下水道と合わせ未処理人口の減少に取り組み、市内の公共用水域の水質浄化を図る。
また、浄化槽パトロール事業による転換促進や、市の広報誌や浄化槽維持管理講習会等を利用して、家庭等から排出される汚濁負荷量の削減のための啓発活動の強化を継続する。

(都道府県知事の所見)

「合併処理浄化槽」の項目及び「未処理人口」においては目標と実績に乖離があることから、今後の目標達成に向けた改善を求める。